

委員会だより

< 12月8日(日) 12名出席 >

- 11月度財務報告
 - ◆一般会計から建設会計への振替額を、30万円の予算のところを40万円に変額する。
 - ◆11月の「死者のためのミサ」謝礼金(総額61,700円)はすべて神父様へさしあげる。
 - ◆一般会計から神父様へ支払っていた給与と賞与は12月分で終了。以降は教区が払うことになります。
 - ◆バザー収益は、純益(473,374円)とその他収入(100,000円)とを合わせて、573,374円となりました。
 - ◆バザー収益から婦人同志会へ2万円を寄付します。なお、3万円をプールしておき、検討のうえいずれかに寄付する予定です。
- 主任司祭不在期間中の対応
 - ◆主任司祭決定までの代行司祭として、カンペンハウド神父様が当たってくださいます。
 - ◆当面の教会の留守番は、今まで神父様のお世話をされていた方々をお願いします。
- クリスマス関係
 - ◆12月24日深夜ミサ 午後8時より
 - ◆25日日中ミサ 午前10時より
 - ◆24日ミサ後パーティーをします。(予算5万円)
- 湘南短期キリスト教セミナー報告
 - ◆今年度のセミナーは無事終了しました。
 - ◆来年度の担当は、中和田という打診もあったが、ムリということで断わり、藤沢教会に決まりました。
 - ◆次期「第5地区福音宣教委員会」委員は、山本仁氏(交渉中)と小野和江さんです。
- H15年1月の成人のお祝いは、1月12日(日)のミサの中で行なう予定です。
- H15年度信徒総会は、1月26日(日)ミサ後に行きます。
- その他
 - ◆現在有志の方々が奉仕しておられる花壇の整備に対し、今後必要に応じて経費を会計から支出します。

壮年会だより

< 12月22日(日) 15名出席 >

- ◆委員会報告(12月度)
 - ◆主たる議題(内容は教会報を参照)
 - ◆11月度財務報告
 - ◆山崎神父様不在期間中の事務処理について
 - ◆クリスマスのミサ時刻
 - ◆クリスマスパーティ準備
 - ◆湘南短期セミナー終了報告
 - ◆15年1月成人のお祝い日程
 - ◆15年度の信徒総会日程
 - ◆今後の日曜ミサについて
 - ◆その他
- ◆議案
 - ◆クリスマスのパーティのケーキ、飲み物を壮年会が負担する。
ケーキ 50個(250円×50個=12,500円)
飲み物 約10,000円(ビール、酒、ジュース)
 - ◆1月度聖書朗読者
1月5日 富田さん 1月26日 福島
 - ◆壮年会役員改選について
次年度は役員改選の年、推薦または立候補者を募り改選

したい。
現役員に一任する(候補者を絞り、お願いをする)

- ◆15年度壮年会総会、新年会について
新年会の方法を相談、例年通り藤吉で行う
会費3,000円(プラス分は壮年会費で補填する)
- ◆その他
 - ◆泉区民クリスマスの演奏(小谷さん、竹内さん、七浦さん) 会場設営お手伝い(竹内さん、七浦さん、山田さん、福島)
 - ◆クリスマスの駐車場の整理 福島
 - ◆最近教会を外部の方が使用する機会が増えてきた
教会の利用方法について説明書を作ると良い(聖堂の利用、集会場の備品使用、駐車場の注意など)
 - ◆教会庭木の枝落とし冬の間に(武田さんが焼却処理するのが楽である)
- ◆次回壮年会(総会、新年会) 1月19日

婦人会だより

< 12月22日(日) 32名出席 >

- 委員会報告(「委員会だより」参照)
- 婦人会関連事項
 - ① 平成15年度役員さんが紹介されました。
会長 アンナ・マリア 山本 照子(B地区)
副会長 マルタ 七浦 昭子(C 〃)
書記 エリアナ 町田 保子(B 〃)
一般会計 マリア 荒木 捷子(D 〃)
特別会計 マリア・アズナ 松田ノリコ(D 〃)
福音宣教委員 マリア 小野 和江(A 〃)
※H15年度は、役員の人数が6名ですので、典礼の係は置きません。
 - ② 今年度も特別会計から以下のところへ、夫々1万円を寄付をすることになりました。
ペシャワール会(アフガン難民救済)、心のともしび、フマニタス(ブラジル)、いのちの電話、Sr. 根岸の活動支援(アフリカ)の計5箇所。
 - ③ 平成15年度・総会、新年会のお知らせ。
日時: 1月19日(日)ミサ後
会費: 1500円
 - ④ 「H15年度・掃除当番表」と「新年会申込み」を掲示します。ご記入ください。
 - ⑤ 役員さんのなり手が少ないという難題をかかえ、役員選出方法については来年度も継続して話し合っていくことになります。
 - ⑥ お知らせ
*山崎神父様は、テレジア病院301号室にご入院中です。例年さしあげている図書券のクリスマスプレゼントは、事情によっては他のものを考えます。
*教会の留守当番は、当面は、今までの台所係の方々にお願いするとのことです。
*婦人同志会の新年会(細井神父様ご出席)
日時: 1月30日(木) 11:45~14:00
場所: 上大岡・京急百貨店10F。「ラ・ピアッツア」(イタリアンバイキング)
会費: 3000円
申込み: 阿部映子さんへ

次回例会(総会・新年会)は第3日曜日1月19日(日)当番はD地区です。

広報 なかわだ

第286号

1月の予定

壮年会、婦人会 1月19日
成人式 1月12日
信徒総会 1月24日
サロン 1月12, 26日
レジオ 1月10, 17, 24日



2003年 1月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

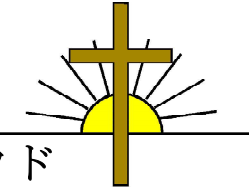
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

平成15年1月26日



過去から今日、今日から明日へ

中和田教会主任代行・ A. V. カンペンハウド



新年のお喜びを申し上げます。新年の喜びは希望の喜びでしょう。中和田教会の皆様にとって、不安を追い払う強い希望をもつことができますようにお祈りしています。

山崎神父様ご引退の試練の中に、中和田教会に対する神様のお望みが読み取れるように聖霊の導きを願ひましょう。

長年中和田の共同体に努力を惜しまず仕えてくださった山崎神父様に対して、皆様の心は感謝でいっぱいでしょう。一日も早く元気になられて、中和田に来て頂いて、神父様にその感謝を表すことができますように心から望んでいます。

さて、わたしが新年を迎えるとき、いつも考えさせられることがいくつかあります。まず、わたしたちが時間の中で生きているということです。当たり前のことですが、しかし、考える値うちがあると思います。過ぎ去った年は過去になってしまうし、新しい年は白紙ですから未来に属しています。今から過去を変えることは不可能です。しかし、その過去の成功、失敗の体験は今から利用することができます。わたしたちが明日に手をつけるとき、その明日はもう明日ではなくなっています。しかし、今日はその未来を準備することができます。結局、昨日と明日を結ぶのは今日の日だけです。今日は決断の日、過去の実り、明日の種です。時間は神のすばらしいプレゼントで、基礎的な恵みです。自分を正しく作るために与えられたのです。その時間の中でいつも神様の呼びかけが聞こえてくるはずだと思います。

また、わたしが考えるもう一つのことは時間の質です。働く時間、遊ぶ時間、寝る時間、食べる時間、勉強する時間、友と語り合う時間、一人で熟考する時間、いろいろあります。しかし忘れていけないのは、神様と語り合う時間です。この時間は他の時間に実りを結ばせる力があります。

それでは、恵みの多い年を！

ミサ当番表 (2003年 1月、2月)

月/日	主 日	司式司祭	朗読 奉納	侍 者	オルガン	月/日	主 日	司式司祭	朗読 奉納	侍 者	オルガン
1/5	主の公現	作道神父	壮年会	石 崎	美 底	2/2	主の奉献	上杉神父	壮年会	石 崎	岩 淵
1/12	主の洗礼	森田神父	青年会	下迫瑤	岩 淵	2/9	年間第5主日	カンペン神父	青年会	下迫瑤	森 田
1/19	年間第1主日	カンペン神父	婦人会D地区	下 迫	森 田	2/16	年間第6主日	作道神父	婦人会A地区	下 迫	岩 淵
1/26	年間第2主日	上杉神父	壮年会	石井大	岩 淵	2/23	年間第7主日	関根神父	壮年会	石井大	森 田

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: Tel 802-6258)迄お申し出下さい。



シエラレオネ

アフリカ・シエラレオネからの手紙

阿部 寿美恵

昨年、山崎神父様はじめ有志の方々から頂いた寄付金を、アフリカのシエラレオネで働いておられるSr. 根岸美智子宛に、後援会をとおしてお送りしたところ、お手紙をいただきました。

民族紛争のために犠牲にされている小さき人々や、そこで献身的に働いておられるシスターたちに心を向けて、彼らのために祈り、関心をもつことも大切かと思い、ここにSr. 根岸からの手紙を紹介させていただくことにしました。



はるか日本の皆様

お元気ですか？ ルンサでの生活も一ヶ月になります。

幼稚園からセンターまで学校は始まりました。なにしろ一番の喜びは、給食が再開したことです。私たちの留守中は、神父様たちも一生懸命やってくさいましたが、監督が行き届かず、貧しい故と言いましょか、いろいろと不正が起こり、実際は給食が皆に行き届いていませんでした。まず、神父様からお金を受けた代理校長は、コックに渡さないで自分のポケットにいれてしまい、神父様からいただく食料、米、油、などは、仕方がないので塩や薪や野菜を買うためにそれを売り、そのために食事はグンと減ってしまう上に味もよくなく、おまけにそこから自分の家族の分まで運んでしまっていたので、生徒たちはほとんど恩恵にあずかっていなかったことが判明しました。神父様は大変怒りましたが、どうにもなりません。とにかく、代理校長は他の学校に異動させ、泥棒コックはクビにしました。ですから、私たちが到着し、給食をきびしく監督しますので、食事はグリーンとおいしく、そして豊富になり、しかも全員が楽しめるようになりました。

小学生は下校になると二列になり、町中に響く大きな声で歌を歌いながら帰ります。こうしてルンサに歌が戻りました。数年振りです。悪夢は過ぎました。ほんとうにうれしいことです。中学生やセンターの生徒や先生たちも、私たちの顔を見るたび「ありがとう、ありがとう!おいしい食事をありがとう」と言います。おそらく、これが唯一の食事という生徒もたくさんいると思います。やはりルンサに戻ってよかったとしみじみ思いました。

私たちの修道院はまだ屋根も穴だらけです。これは、今雨季ですので、まだ工事ができないからです。屋根の修理は来年の2月になるそうです。神父様も大変です。大工さんも何人いても、今は間に合いません。学校、病院、センターの建物の修理、椅子や机、家具…、日本と違いみな手でやらなければならないので時間がかかります。忍耐、忍耐の毎日ですが、生きがいがあります。

私がOLGの校長だった時、毎日校長室に来ていた口の利けない男の子はどうなったのかしらと心配していましたら、昨日現れました。彼は、自分の見ている前で父親が殺されたそうで、その時のショックで口が利けなくなっていました。その後目の見えない養母に育てられたという彼は、この養母の目となって物貰いをしていましたが、この戦争で養母は死に、遠い親戚に引き取られたいました。ここでも学校に行けないで、家の小間使いでした。そこで今回私が戻ったのを知り、村からやってきたのでした。10歳くらいなのですが、小学校に入学させました。彼は今言葉がもどり、正常に話せるようになりました。

戦争ではみな苦しみました。でも、ほとんどの生徒たちは生き延びました。うれしかったです。「シスター、うれしいです。これで生きていけます」と涙をこぼして喜んだ学校の労働職員たち(大きな敷地の草取り、大工、給食づくりなどをする職員)。修道院のお手伝いさんのシロは、この戦争で妻と二人の子どもを飢えで亡くしました。今は残った娘二人と三人で暮らしていますが、「シスター、つらかった。だれも手伝ってくれる人がなかった。神父様が来なければ、私たちはみんな死んでいたでしょう」と話してくれました。

すべて忘れ、すべてを許して始めなければなりません。わたしは今、やはりセンターの校長と呼ばれていますが、何もないので途方に就いていました。でも今日、うれしいことに、神父様がイタリアから5台のミシンと6台のタイプライターを持ってきてくださいました。これで元気よく勉強ができるでしょう。感謝です。ないないづくしですが、希望いっぱいです。皆様からの暖かいご支援に支えられて、これからもがんばります。11月には100個の机と椅子が揃う予定です。物価が高いのにはとにかくビックリです。一人分の机と椅子で5000円かかります。昔はこの1/10でした。

シエラレオネでは未だにたくさんの若者が職業もなく、窃盗が絶えません。適当な指導者が出て、この国を真の平和に導いてくれますようにお祈りください。すべてを許し、前進するのみです。平和には愛とゆるしが必要です。

「2年間ありがとうございました」

(壮年会旧会長挨拶) 福島 清

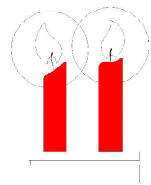
微力ながら楽しい、頼もしい壮年会にしたいと、抱負を述べたのが、ついこの間のような気がします。

毎月の集会、年間の行事への参加と、教会の運営の中で、大きな期待に応えて充分な活動をして来ましたが、と言いたいのですが??本当に微力でした。

前期役員が築いた路線に乗っかって、何とか途中棄権せず、次期役員にタスキを繋ぐことが出来たのが現状です。

宮崎副会長、橋会計および前期役員に支えられて、任期を終了することが出来ました、また会員の皆様のご協力に感謝いたします。

今年は、神父様も代わり、教会運営に大きな変化が予想されます、在任中に出来なかったことを反省し、新役員へ協力して、壮年会の活動を盛り上げて行きたいと思っております。



壮年会新会長挨拶

下村 毅

昨年のクリスマスパーティー時に、前福島会長・宮崎副会長より「次期壮年会々長をお願いします」と言われ、戸惑った私ですがお二人の熱意に絆されて、大役をお受けしました。

私は長いサラリーマン生活では「全くの会社人間」です。こんな私が、歴史ある「中和田カトリック教会の壮年会」の運営が出来るか心配しております。

特に『我が壮年会』も世の中の趨勢に違わず、高齢化が進んでいます。(クリスマス、復活祭準備の大掃除時の動作・数に感じています。)短時間では「何も出来ないと思います」が、「今何が出来、将来に向かって何をやらなければならないのか」を、皆様と共に考えて行きたいと思います。

幸いにも副会長には「若い力の山本仁さん」と、会計には「経験豊かな山田孝信さん」の力添えを得ながら、【2002. 11. 3の福音 [マタイ 23]】『仕える者になりなさい』(あなたがたのうちでいちばん偉い人は)の心で会を進める所存です。皆様のご支援を宜しくお願い致します。

婦人会旧会長挨拶

阿部 寿美恵

昨年的一年、いたらないながら何とか役員の方々はじめ皆様の暖かいご支援のお陰で、無事会長の任務を終えることができましたことを心から感謝しております。

思えば昨年は、会員の方が三人も帰天されるという悲しい年でしたし、山崎神父様も暮にはご入院されることになり、いろいろと教会中が大変な年でございました。

これからも、高齢化が進みつつある中和田教会の歩みとしては、行事なども少しづつでも皆様のやり易い方法に変えながら、一層の親睦を深めて参れたらと願っております。



婦人会新会長挨拶

山本 照子

「祈りなさい」「毎日祈ること」。何十年言われてきたことか……。よく忘れてしまう私に、償いとして、会長という大役がまわってきて、大変な一年になりそうです。

私にはとても無理なので、何度もお断りしましたが、今年からは役員の人数も少なくなり、みなさんそれぞれに体調がよくない方も多く、そういった事情でなかなか会長の役が決まりそうになく、結局、今のところ体だけはなんとか元気ですので、お引き受けすることにいたしました。

私には他にやっている仕事もあり、中和田教会には度々行くことができませんので、他の役員さんや会員のみなさまにはご迷惑をおかけすることになると思います。

私の能力だけでは大したことは何もできませんが、みなさまの協力をいただきながら、この一年間、微力ながらなんとかお役に立てますように努力していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。